## 「新庁舎歴史資料展示室基本計画 (案)」に対する意見募集の結果について

## ■ 意見募集期間

令和6年3月1日(金)~ 令和6年4月1日(月)

## ■ 意見提出数

4名 (14件)

※うち1件は、他の計画に関する意見であっため公表対象から外します。

## ■ 意見の内容とこれに対する市の考え方

	I	Γ	
意見の該当箇所	意見の内容	件数	市の考え方
10 ページ	長岡京市埋蔵文化財センター、勝	1件	ご意見のとおり、展示資料には勝龍
第3章2.(3)⑥	竜寺城公園等の収蔵品の一部を		寺城跡や市内の発掘調査による出
誘導·周遊	展示し、現地に周遊を促す構成に		土遺物も想定しています。後章の第
	することは可能であるか。		4章1.展示方針で位置付けておりま
			すように、こうした展示等に関わる施
			設のみならず、市域に点在する文化
			財・歴史文化への周遊を促すよう、
			展示ゾーンを整備する予定です。
6ページ	ここでの、①以下の博物館機能を	1件	ご意見のとおり、博物館機能はもち
第2章1.	果たすためには、複数の学芸員が		ろんビジターセンター機能を担うた
博物館機能	必要ではないでしょうか。また、学		めには、それに応じた体制の構築が
16 ページ	芸員がそうした専門的な役割にし		必要不可欠です。第5章1.「体制構
第5章	っかり取り組むためには、事務職		築にかかる留意点」に則り、今後検
管理運営計画	員も複数いると思います。しかし、		討を進めます。
	管理運営計画には、具体的な体制		
	について記載がありません。この		
	計画を実現させるためには、きち		
	んと記載した方がよいと思います。		
15 ページ	継体天皇と弟国宮 をいれて欲し	1 件	ご意見として承り、今後の事業展開
第4章3.(3)	l'o		のなかで参考とさせていただきま

企画展示例	(説明)歴史マニアの関心事例のため。		す。
6ページ第2章事業活動計画	前文の最終行に また市民、地域、団体との協働が 最大限に効果を発揮できるように 事業活動を進めます。 をいれる。 (説明)調査・研究のところに市民 協働が入れてありますがすべての 事業に市民協働が必要になりま す。	1 件	ご意見のとおり、市民との協働は事業全般を横断し、各事業で取り組むべきものですが、まずはその他全ての活動の基盤となる、調査・研究事業において推進するため、原案どおりとさせていただきます。
8ページ 第3章1.(1) 貴重な文化財を 保存・活用する	最終行に追加 将来の収蔵物、展示物の増加に備 え、ある程度の予備スペースを考 慮する。 (説明)展示物を入れ替えたりする 際も必要なのではないでしょうか。	1 件	ご意見のとおり、資料の増加を見込んで収蔵ゾーンの検討を進めています。 しかしながら、すでに「長岡京市庁舎 建替等実施設計」が策定され、歴史 資料収蔵庫として 90 ㎡が見込まれており、今後大きな増減はできないため、原案どおりとさせていただきます。
11 ページ 第 3 章 2.(4) 機能構成概念図	搬出入口が通用口と構造的に違う ものなら2F、7F にも搬出入口と いう表示が必要なのでは。	1 件	来館者動線における出入口、職員動線における通用口、資料動線における搬出入口は、それぞれ別で、かつ庁舎建物と外との境界を示していますので、原案どおりとさせていただきます。
13ページ 第4章3.(1) 常設展示	案では「特徴的な考古資料」で市 の歴史を展示するとのことです が、既存の埋蔵文化財センターの	1件	前段の第 4 章 1.展示方針で位置付けておりますように、ここを起点に市域に点在する文化財・歴史文化や埋

常設展示室がその機能を持ってお り、既存施設をアップグレードした 施設となる予定なのか、あるいは 利便性が高い市役所内施設を導 入として、もっと詳しい事を学ぶに は埋蔵文化財センターや市内各所 の遺跡の現地へ導くというという ような位置づけなのかを定めるべ きだと思います。現計画では展示 室面積から考えても現行の市埋 蔵文化財センター常設展示室のダ イジェスト版になってしまい、なお かつ目立つ資料だけ埋蔵文化財 センターから抜いてしまう事になる のではないでしょうか?

蔵文化財調査センターをはじめとす る展示等に関わる施設への周遊を 促すよう、展示ゾーンを整備する予 定です。

13 ページ 第4章3.(1) 常設展示

「随時更新」が基本計画に盛り込 1 件 まれていますが、これは極めて重 要です。市内の遺跡調査の成果は 年々蓄積されますが、特に専門の 展示業者に委託して容易に更新 がきかない展示を設置してしまう と、学芸員の手による更新が困難 になります。

一方、それをどうやって実現させる のかはまた困難で、今でさえ恵解 山古墳の埴輪や模型の更新や修 復も出来ていない現実からする と、果たして大丈夫なのかと思いま す。

前章の第3章2.(3)常設展示エリ アで示しましたとおり、常設展示を随 時更新できるよう「作業や費用等の 負担を考慮し」た整備を予定してい ます。

また、随時更新を実現できるよう第 5 章 1.「体制構築にかかる留意点」 に則り、今後体制の構築について検 討を進めます。

13 ページ 第4章3.(1) 常設展示

添付のスケッチは暫定的なものだ | 1件 とは思いますが、天井までシンボ ルツリー式に資料を露出展示する

ご意見のとおり、掲載のものはイメー ジスケッチですが、「長岡京市庁舎 建替等実施設計」で示されたとおり、

	のは非現実的で、地震の発災時にも危険です。スケッチすら暫定案しか存在しないのであれば、あと2年9か月で本当にオープンできるのでしょうか?		市役所本庁舎は免震構造が採用されており、家具や設備類が転倒・落下する可能性が低い、耐震安全性を目標としています。加えて、展示資料はそれぞれテグス等で展示台と固定することを予定しており、イメージスケッチの仕様を非現実的とは考えておりません。しかしながら、誤解が生じないよう、ご意見を踏まえ、新庁舎歴史資料展示室を整備する市役所本庁舎の免震構造について、注記いたします。
14 ページ 第 4 章 3.(2) 体験型展示	「7 つのものがたり」は常設展示 (案)とは連動していませんが、同 じ市の通史展示なのに常設展示と は別個の展示という事なのでしょ うか?	1件	ご意見のとおり、常設展示エリアと体験型展示エリアとは別のエリア、別の展示手法、別の展示内容です。前章の第3章2.(3)展示ゾーンで示しましたとおり、常設展示は通史展示ですが、体験型展示は通史展示ではなく、「7 つのものがたり」を内容としたテーマ展示を予定しています。
14ページ 第4章3.(2) 体験型展示	展示室は市内10小学校の歴史教育との共動を考慮しているでしょうか?少なくとも6年生(日本史を学ぶ)ークラス全員が一度に来て学べる体制の準備が必要だと思います。	1件	ご意見として承り、今後の事業展開 のなかで参考とさせていただきま す。
14ページ 第4章3.(2) 体験型展示	ハンズオン展示は 2020 年からの コロナ禍で全国的に中止され、再 開に苦慮した経緯が有りますが、 対応策は考慮しているでしょうか。	1件	ご意見として承り、今後の整備事業 のなかで参考とさせていただきま す。

14ページ 第4章3.(2) 体験型展示 「地図上にポイント」とされています | 1 件 が、長岡京市の歴史地理学習の 大きな欠陥は、現在の市内のどこ がいにしえの長岡京のどこに当た るのか、なかなか分からないことだ と思います。市内に六条条間小路 などの各所の解説板や立命館中 学・高校の校門の条間小路の表示 などがあり、市内 10 小学校(4 小 は無くなったようですが)の校門に 長岡京の条坊の想定略図が掲示 されていたり、また条坊復元図は 市のホームページに掲載されてい たり、先年の市役所新庁舎の工事 フェンスに大きく掲示されたりしま したが、いずれも現在の市内との 連動はわかりにくく、例えば長岡 京のメインストリートである朱雀大 路が現市街地のどこに想定されて いるかを知っている人はほとんど いないのではないでしょうか? 地図との連動を基本にした展示で あれば、市の名称でもある「長岡 京」についての歴史地理の情報提 供を先ず第一に考えていただきた いと思います。

ご意見として承り、今後の整備事業 のなかで参考とさせていただきま す。